

第47回 卒業式から1週間

17日に卒業式、一週間後の24日に修了式をそれぞれ行いました。小学校にとって大切なこれらの行事もコロナ禍による制約を受けましたが、コンパクトで、心地良い緊張感もあり、いい式でしたという声も聞かせていただきました。

ただ、私が、持病に加えろっ骨を2本折ってしまったことで当日の体調が十全でなく、式辞をうまく読めなかったことが心苦しく思われます。そこで、式辞の原稿を掲載し読んでもらうことで、私が伝えなかったことを知ってもらおうと考えました。以下に原文を載せています。よろしければご一読ください。

※原文は縦書き。今回は便宜上横書きにしています。

(第47回卒業式 式辞より)

式 辞

桜のつぼみが膨らみ始め、風のおいや陽だまりのぬくもりに春の近づきを感じる今日、この佳き日に、第四七回卒業式を、多数の保護者のみなさまのご臨席を賜り、挙行できますことを教職員一同たいへんうれしく思っております。石橋南小学校を代表しまして厚くお礼申し上げます。

さて、四五名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

六年間という長い小学校生活を終えて、今、みなさんの心にはたくさんの思い出がよみがえっていることでしょう。

私とみなさんとは入学した時から今日まで共に学校生活を送ってきました。楽しかったこと、うれしかったこと、ときには厳しく叱ったこともありました。また、みなさんの教室で授業をしたこともありました。すべてなつかしい思い出です。

さて、卒業生のみなさんへ私から最後の言葉を贈ります。

よく聞いて、しっかり考え、いつまでも胸の中に持ち続けてくれるとうれしく思います。

みなさんはニュートンの万有引力の法則という言葉聞いたことはありませんか。

ニュートンが、りんごが木から落ちる様子を見て、万有引力の法則を発見したというエピソードは有名です。

実は、このお話には続きがあるのです。ニュートンは、りんごは木から落ちるのにどうして月は落ちてこないのだろうとひらめいたということです。

木から落ちるりんごは昔から多くの人が見てきました。夜空に輝く満月も見てきたはずですが。

でも、誰も月が落ちてこないのはどうしてなのかとは考えませんでした。

地球とりんご、地球と月、この二つの間には何か関係があるかもしれないと考えられませんでした。私たち人間は目に見えるものに引っ張られやすく、目に見えないものを想像することは難しいようです。

金子みすずの詩「星とたんぽぽ」に繰り返し出てくる言葉は何だと思いませんか。

みえぬけれどもあるんだよ　みえぬものでもあるんだよ　この二つです。

みえない=無い　とは限りません。

あるけれどみえていないもの。たとえば、空気。また、隣に座っている友だちの心も、あるけれど見えません。

でも友だちの立ち居振る舞いをよく見てみると、相手のころづかいが見えてきます。そのころづかいから友だちの気持ちを想像することはできます。みえないけれどもあるもの。それをみるには想像する力が必要なのです。

ニュートンはりんごの木の高さをどんどん高くしていく想像をしたのかもしれませんが。

そして、木が月までの高さになった時、月がりんごのように落ちてこないのはなぜなのかとひらめいたとも考えられます。そういう想像をすると大科学者ニュートンが身近な人物に感じられませんか。

みえるものだけをみないで、豊かな想像力でみえないものもみてみましょう。

それには言葉が必要です。だから、これからも言葉をたくさん学んでください。そして、あなたの胸が芳醇な言葉で充たされたとき、あなたの家族が、友だちが、そしてこれから出会うたくさんの人たちが、あなたに寄せている見えない心を、自分の目と心で見ることができはるはずです。

いえ、あなたたちはすでに一人ひとりが寄せる心、寄せられる心に気づいているはずですよ。

入学したときから六年間の歩みを見てきた校長先生の日から見ても、本当にうらやましいぐらい素敵な仲間になりました。ひとつだけ紹介します。

修学旅行の帰りのバスの中の、四、五人ぐらいの会話です。

「僕な、このクラスでなかったら今みたいに発言できなかつたと思うねん。」

「僕も同じや。だって、みんなちゃんと聞いてくれるから、安心して話せる。」

続けて、

「このクラスで一番好きな人って誰。」

「順番なんて決められないわ。だって、俺みんなのことが好きだから。」「えーっ俺も。」「僕も。」という会話を私は今も忘れることができません。

見えない心の内をはっきりと言葉にでき、それをしっかりと受け止めるあなたたちの関係が本当にうらやましいです。

第四七回卒業生のみなさん。私の三五回目の、そして最後の卒業式をこのように心に響く式にしてくれました。あなたたちに出会えてよかった。ありがとう。

保護者の皆さま、お子さまのご卒業おめでとうございませう。六年前に大きなランドセルを背負って入学式に臨んだお子様がこのように立派に成長され、本校を巣立っていく今日の姿をご覧になり、喜びもひとしおのことと存じます。六年間の学校生活のなかで、学校として至らない点が多々あったとは存じますが、今日まで本校の教育活動にご理解とあたたかいご支援を賜り、本当にありがとうございました。

このあと、こどもたちが卒業にあたって思いを込めた素敵な歌を皆さんにお届けいたします。卒業生の成長した姿、純粋な心がみなさんの胸にしっかり届くことを願っております。

さあ、卒業生のみなさん。

思い出がいっぱいの石橋南小学校を巣立つときがきました。

皆さんの輝かしい未来に向かって、小学校最後の一步、中学校への最初の一步を力強く踏み出してください。

最後になりますが、卒業生の皆さんからいただいた、心のこもったこのお手紙の束は、私が今日まで果たしてきた仕事は間違っていなかったと自信を与えてくれました。うれしかったです。本当にありがとう。

私からもエールを贈ります。 卒業おめでとう。

以上、式辞といたします。

令和3年3月17日

い し ば し 学 園

池田市立石橋南小学校

校 長